

4. 林野庁長官感謝状

氏名	住所	受賞理由
<p>さきやすかつ 佐々木康勝</p>	<p>いわてけんくじしんなか 岩手県久慈市新中 の橋第4地割99 番地2</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>「くじ・川の会」において平成元年から平成12年まで会長として、毎年、次の事業を開催し、野生生物の保護に努め、平成13年から名誉会長として役員の指導に当たっている。               <ol style="list-style-type: none"> <li>小中学生、市民を対象として4月と11月に探鳥会の開催</li> <li>三陸北部森林管理署久慈支署と共催で森林教室を開催し、市民を対象として森林と人間の関わり、そこに棲む鳥・昆虫その他の生物の生態について勉強</li> <li>小中学生と河川の水質検査、水生生物の調査を実施</li> <li>河川の清掃活動</li> </ol> </li> <li>毎年、年2回開催されている「くじ・川の会」で開催される探鳥会において、日本野鳥の会宮古支部の会員とともに指導員として参加者に対し野鳥観察の指導を行っている。</li> <li>平成6年、魚類図鑑「久慈川の淡水魚」「川と魚たちの自然なすがたを求めて」を発刊する。</li> <li>岩手県で主催した「身近な生き物調査」に参加し、また、ワシ・タカ類調査に協力するなど野生生物の生息調査に尽力している。</li> </ol>
<p>くらはちそんりつかわうら 倉沢村立川浦小学 校</p>	<p>ぐんまけんぐんまぐんくらはち 群馬県群馬郡倉沢 村大字川浦141 4</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>学校教育目標の一つ、「自然を大切にする子」の育成を目指し、各教科、特別活動の中で集中的、恒常的に指導を実施している。</li> <li>校長講話や広報活動等により、愛鳥モデル校の伝統について理解を深め、誇りと自覚を持たせるよう努めている。</li> <li>村営わらび平森林公園等、隣接している自然環境を有効に利用している。</li> <li>緑の少年団の活動の一環として、全校児童で下記の活動に取り組んでいる。               <ul style="list-style-type: none"> <li>●給餌活動：緑の少年団の班による、校庭敷地所にある給餌台の清掃・給餌。</li> <li>●樹木整備：野鳥の好む樹木の育成・周辺の世話。</li> <li>●シジュウカラ向けの巣箱づくり：1～2年生は親子で作成。3年生以上は各自で作成。</li> <li>●巣箱づくり・巣箱かけ：秋にわらび平に巣箱をかけるのを年中行事としている。</li> <li>●愛鳥学習：毎年、日本野鳥の会等より講師を招き、愛鳥学習を実施。野鳥の生態への理解を深め、野鳥保護、環境保護、自然保護活動の意欲の向上に努める。</li> <li>●野鳥保護のポスターコンクールに毎年応募し、野鳥の保護活動に対する意欲を高める。</li> <li>●果樹樹祭・夏の交流集會に、緑の少年団員や職員が毎年参加し、自然環境保護に積極的に関わる機会を活用し、愛鳥学習に関連づけるよう努める。</li> <li>●PTAの本事業への協力態勢、理解度が高いため、それを維持発展するよう努めている。</li> <li>●学外講師との交流も盛んで、自然や野鳥保護に対する児童の興味や関心を深めている。</li> </ul> </li> </ol>
<p>おおやまちょうりつおみ 大山町立小見小学 校</p>	<p>おやまけんおやままちおみ 富山県大山町小見 250番地</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>年1回の学校林手入れ日、さらに日常的に野鳥観察会を実施している。               <ul style="list-style-type: none"> <li>5月の第2土曜日は、毎年、学校林手入れ日としている。その際、富山森林管理署の職員から、森林や環境について指導を受け、合わせて野鳥観察会を行っている。参加者は、当校の児童及び保護者、ひこばえ学級生（お年寄りの学級）等、約100名である。</li> <li>校内には多くの野鳥がやってくるので、図鑑や双眼鏡を所定の位置に常備しておき、日常的に観察を行っている。</li> </ul> </li> <li>校舎に巣作りするイワツバメの観察や巣の下の清掃を続けたり、校内の樹木に手作り給餌箱を設置している。               <ul style="list-style-type: none"> <li>校舎周辺には、5年程前から、毎年4月から11月にかけてイワツバメが巣をかけるようになった（平成12年度は、隣接する幼稚園舎を合わせて約70個の巣が作られた）。毎日、4年生が中心になって観察を続け、朝と昼には巣の下の清掃活動も行っている。</li> <li>校内の樹木に、ペットボトルを利用した手作り給餌箱を設置している。</li> </ul> </li> <li>野鳥の餌となる実のなる木等を植栽し、野鳥の生息環境の整備に努めている。               <ul style="list-style-type: none"> <li>ガマズミやソヨゴなどの実のなる木を植えたり、花壇に実のなる植物を植えて、校内を訪れる野鳥が自由に食べられる環境を整備している。</li> </ul> </li> <li>野鳥に関する観察や調査を積極的に実施している。               <ul style="list-style-type: none"> <li>校舎周辺で毎年巣作りしているキセキレイ等についても観察を続けている。</li> <li>カラスがグルミを高所からアスファルトに落とし、割って食べている。このことについても観察と調査をしている。</li> </ul> </li> <li>これらの活動が認められ平成13年度に愛鳥モデル校に指定され、県内における愛鳥保護思想の普及啓発のモデル校となっている。</li> </ol>